



8/10 Hirado City Photo News
小学校最後の夏休みに



山中町の紙漉の里において、山田小学校6年生の「夏休み思い出づくり」レクリエーションが開催され、今年は初の試みとして、県内の大学生たちとの交流が行われました。

この事業は、小学校最後の夏休みに、クラスメイトや先生、保護者の皆さんと忘れられない思い出を作る事業として毎年開催されているもので、山田小学校6年生の児童16人が、切られたばかりの竹を使った流しそうめんや、竹細工での水鉄砲づくり、近くの川での沢遊びなどを体験しました。

8/2 Hirado City Photo News
九州大会での活躍を誓う



令和3年度九州中学校体育大会に出場する中学生9人が市長室を訪れ、市長に九州大会での活躍を誓いました。九州大会に出場するのは下記のとおりです。

- 相撲・団体 中部中学校
- 空手・団体 生月中学校
- 空手・個人 破戸峻佑さん(生月中学校)
- 剣道・個人 川上友梨子さん(平戸中学校)
- ※空手団体・個人については、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、中止となりました。

7/22 Hirado City Photo News
世界遺産登録3周年の夜を彩る



平戸文化センター駐車場において、世界遺産登録3周年記念イベント「封灯」が開催されました。

広げた封筒の中にろうそくを灯した「封灯」約2,500個で世界遺産シンボルマークや文字を描いた、平戸では初となるイベントです。

夕暮れ時からぼんやりと灯された明かりは、夜が更けるにつれてハッキリと「平戸の宝 3周年 世界遺産」の文字とシンボルマークを描き、ライトアップされたオランダ商館と共に、平戸港の夜景を彩りました。

7/18 Hirado City Photo News
ごみ拾いはスポーツだ！



千里ヶ浜海水浴場で、「みんなでビーチクリーンアップスポGOMI大会in平戸」が開催されました。

スポGOMI大会は、海洋ゴミ問題が深刻化する中、美しい海とそこに住む生き物たちを守るため、ゴミ拾いをスポーツとして楽しみ、拾ったゴミの種類や量でポイントを競う競技です。

当日は市内の中高生などを中心に、約350人が参加。「ゴミ拾いはスポーツだ」の掛け声でスタートし、参加者は45分間、流れ着いた流木や漁網、ペットボトルなどのゴミを拾いました。

8/14~18 Hirado City Photo News
安全と繁栄を祈り舞い踊る



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模縮小を余儀なくされながらも、市内各地で盆行事が行われました。

14日(土)～15日(日)で大島村東神浦地区の須古踊り(※3ページに掲載)、15日(日)に大島村的山地区の須古踊りと流儀、18日に生月町の館浦須古踊りが行われ、各地区の踊り手たちが、神社仏閣や初盆を迎える家など地域内の各所をまわり、笛や太鼓のはやしと唄に合わせて、安全と繁栄を祈る伝統の舞を奉納しました。

8/11 Hirado City Photo News
貴重な介護人材を激励



平戸市役所市長室において、平戸市介護職人材確保支援事業賞賜金交付式が行われ、4月から介護療養型老人保健施設「のぞみ」に勤務する、松田絵美莉さん、米倉海斗さんに市長から賞賜金が交付されました。

この事業は、満25歳以下で介護職として就職した人に激励の意を込めて賞賜金を交付するもので、通算で13回目となります。交付を受けた松田さんは「介護の仕事を通じて社会に貢献できると思うので、誇りを持って頑張りたい」と抱負を述べました。

7/29 Hirado City Photo News
3年間の任期を終えて



平戸市とオランダとの交流の架け橋として活躍した国際交流員のボニー・ボエトさんが、3年間の任期を終え退任することとなりました。

ボニーさんは、任期中、平戸市との姉妹都市であるオランダ王国ノールトワイク市との交流事業をはじめ、市民向けのオランダ語講座や料理教室、各種イベントでの通訳など幅広く活躍しました。

退任式では、「平戸での経験を胸に新たな場所でも頑張りたい。そこでも平戸の魅力を伝えていきたい」と話しました。

7/27 Hirado City Photo News
竹とんぼをオランダへ寄贈



竹細工職人の杉山安信さんが、オランダの子どもたちへ竹とんぼ200本を寄贈するため、国際交流員のボニー・ボエトさんに手渡しました。

2年前のオランダとの交流事業の際に、オランダには竹がないと聞き、「多くのオランダの子どもたちに竹とんぼの楽しさや竹のぬくもりを伝えたい」との思いで製作したとのことでした。

手渡された竹とんぼは、ノールトワイク市との文通事業の一環として、手紙に添えてオランダの小学生へ寄贈されました。